

種類		説明	塗装	費用
粘土瓦	いぶし瓦	粘土を瓦の形にして焼き、さらに燻し(いぶし)て瓦表面に炭素の膜を作ります。瓦全体的に銀色です。 これぞ日本の瓦、という感じの瓦ですね! 独特の「いぶし銀」の輝きは日本の心の風景そのものです。 初期費用は高いですが、割れない限りメンテナンスは必要ありません。	必要 無し	高い
	釉薬瓦 (ゆうやく)	粘土を瓦の形にして、釉薬(ゆうやく)と呼ばれるうわ薬をかけて焼き上げた瓦です。瓦の釉薬がかかっていない部分は素焼きの茶色いままです。うわ薬によって色々な色に焼きあがります。色々な色があるので和風住宅にも洋風住宅にも合わせられるんですね。 これまた初期費用は高いですが、割れない限りメンテナンスは必要ありません。	必要 無し	高い
	素焼瓦 (すやき)	粘土を瓦の形にしてそのまま焼いた瓦です。 粘土そのままの色に焼きあがっているので赤茶色な感じですね。 ヨーロッパの古い街並みや、シーサーが乗っている沖縄の屋根とかを想像してみてください。南仏をイメージした住宅も人気ですね。 これまた初期費用は高いですが、割れない限りメンテナンスは必要ありません。	必要 無し	高い
セメント系	軽量 スレート	セメントに繊維を混ぜて作られています。 薄くて軽くて初期費用も安いです。種類もカラーも豊富。 初期費用は短いのですが年数が経つと塗り替えが必要になります。ただ、色を変えたりして家の印象の変化を楽しめますね。	必要	安い
	セメント瓦	セメントと砂などで作った瓦です。防水するために表面は塗装されています。形はまるで日本瓦なものから、薄型化粧スレートのような平らなものまで様々です。カラーバリエーションも豊富ですので和風住宅にも洋風住宅にも合わせられます。 しかしながらやはりセメント系。年数が経つと塗り替えが必要になります。ただ、色を変えたりして家の印象の変化を楽しめますね。	必要	高い
金属系	トタン	安くて薄くて軽いです。台風には弱い地震に強い。軽いから。住宅から倉庫まで幅広く使用されていますね。 どうも雪の多い地域などはトタン屋根の住宅が多いようです。トタンは金属ですので熱が伝わりやすいです。当然室内も暑い。また雨が降るとバラバラとうるさいですね。 錆が出やすく、塗装も必要です。	必要	安い
	ガルバリウム鋼板 (ごうはん)	錆びにも耐久性にも強い金属板です。そして軽いので耐震性に優れているし、費用も安い。デザイン性にも優れていてデザイナーズハウスのようなおしゃれ住宅に多い気がします。 屋根だけでなく外壁にも使われていますね。 金属屋根ですので少々暑くて雨がうるさくはなります。 耐久性はありますが、色は褪せますのでメンテナンスは必要かと思えます。	必要	高い
	ステンレス	ガルバリウム鋼板よりも錆びにも耐久性にも強い金属板ですが、加工、施工が難しく価格も高価。これも金属屋根ですので少々暑くて雨がうるさくはなります。 ステンレス自体は耐久性はありますが、表面に塗装してある場合、塗装が劣化したり、色が褪せたりしますのでメンテナンスは必要かと思えます。	表面に塗装 されている場合 塗装必要	非常に 高い
	銅	銅の屋根は寺社仏閣に多いです。新しい時は銅の色でピカピカしていますが、年数が経つと表面に緑青(ろくしょう)が出てきます。 大阪城を思い出してください。屋根が薄い緑っぽいんですね。 また、屋根のふちまわりに使用している住宅もあります。そのような住宅は純和風の豪邸のイメージです。費用は高いです。 錆びるとメンテナンスが必要ですが、基本的に緑青(ろくしょう)の屋根に塗装は必要ありませんが、穴が開くと葺き替えになります。	必要 無し	非常に 高い
	チタン	チタンと聞いただけで高価な気がしますが、その通り。凄く高価です。でも耐久性があり軽いです。 一般住宅でチタンの屋根はあまり無いのではないのでしょうか。浅草寺とか鎌倉の長谷寺とか、寺社仏閣にじわじわと広がっているようです。チタン自体は耐久性はありますが、表面に塗装してある場合、塗装が劣化したり、色が褪せたりしますのでメンテナンスは必要かと思えます。	表面に塗装 されている場合 塗装必要	非常に 高い
化学系	アスファルト シングル	不燃布やグラスファイバーにアスファルトをコーティングしてその上に砂とかまぶしてコーティングした屋根材です。 アメリカでは80%を占めていて、柔らかく施工性に長けています。 マンションや施設での使用が多いですが、近年では一般住宅でも施工性が買われ人気となっています。剥がれやすく、塗装もできますが、傷みが激しいと葺き替えになる場合があります。	必要	安い